

令和3年度 政策評価表

		作成日	令和3年8月24日
リーディングプロジェクト	元気でいきいき“健幸(けんこう)長寿のまち”の実現	ゼネラルマネージャー	健康推進部長
未来(あす)を紡ぐミーティング(ATM)メンバー	健康推進部長、経営企画部長、市民部長、福祉部長、環境クリーン部長、産業経済部長、街づくり計画部長、建設部長、教育総務部長		
幹事会メンバー	保健センター長、健康推進部次長、経営企画課長、広報担当参事、まちづくりセンター担当参事、地域づくり推進課長、文化芸術振興担当参事、防犯交通安全課長、高齢者支援課長、保健医療課長、国民健康保険課長、健康づくり支援課長、健康づくり支援課主幹、みどり自然担当参事、産業振興課長、商業観光課長、農業振興課長、都市計画課長、交通政策室長、市街地整備課長、道路建設担当参事、道路維持課長、公園課長、河川担当参事、教育総務部次長、社会教育担当参事、スポーツ振興課長、文化財保護課長		

【リーディングプロジェクトの方向性】

健康で幸せを感じながらいつまでもいきいきと地域で暮らすためには、充実した医療体制はもとより、市民一人ひとりが自分の心と体を大切にする健康意識の向上が重要となるため、歩くこと等を中心とした生涯を通じた健康づくり、体力づくりを進めていく必要があります。

また、人や自然とのふれあいは、心の豊かさや活力を育むことにもつながります。誰もが外に出て人や自然に触れ活動したくなるように、所沢の豊かな自然を生かした魅力的な散策路の整備や、人々が楽しみを感じる集いの場を増やすなど、「歩いて」「楽しんで」健幸長寿を実感できるまちづくりを進めます。

【令和2年度に実施した事業】

≪「主な取り組み」にあたる事業≫

3-1-1 主体的な健康づくりの推進（歩くこと等の健康的な取り組みによる生活習慣の改善）	
トコトコ健幸マイレージ事業	健康づくり支援課 国民健康保険課

3-5-1 スポーツ活動を通じた健康・体力づくりの推進（スポーツ活動を気軽に楽しめる環境づくり）	
健康体操推進事業	スポーツ振興課

≪「関連する取り組み」にあたる事業≫

1-1-1 地域コミュニティの充実（地域課題解決に向けた自発的な取り組み）	
地域づくり支援事業	各まちづくりセンター

1-4-1 自立した生活を継続するための取り組みの推進 (介護予防や重度化防止に向けた取り組み)	
介護予防普及啓発事業	高齢者支援課
地域介護予防活動支援事業	高齢者支援課
老人福祉センター等運営事業	高齢者支援課

4-2-3 みどりと水の保全（「水とみどりがつくるネットワーク」の構築）	
水とみどりがつくるネットワーク計画推進事業	みどり自然課
里山保全地域等指定整備事業	みどり自然課
所沢カルチャーパーク築造事業	公園課

5-3-1 にぎわい拠点の創出・活性化（新規・既存の観光拠点の整備・充実）	
「所沢市観光情報・物産館」整備事業（COOL JAPAN FOREST 構想事業）	商業観光課
東所沢公園改修事業（COOL JAPAN FOREST 構想事業）	公園課
観光拠点の整備・充実事業	商業観光課

5-3-2 にぎわい拠点のネットワーク形成（新たなにぎわい拠点・観光交流拠点間の回遊性の向上）	
インバウンド戦略推進事業（COOL JAPAN FOREST 構想事業）	商業観光課
観光客回遊性創出事業	商業観光課

5-3-3 観光を軸としたブランド化の推進（食を通じた新たな魅力の創出や地産地消の推進）	
ヘルスツーリズム産業創出支援事業	商業観光課
地産地消推進事業	農業振興課
体験農場推進事業	農業振興課

6-1-2 所沢らしい景観まちづくりの推進（所沢らしい良好な景観の形成）	
景観まちづくり推進事業	都市計画課

6-3-4 歩行者・自転車環境の整備推進（バリアフリーに配慮した空間の整備）	
自転車レーン整備事業	道路維持課

## 【評価及び今後の方針】

令和2年度の取り組みに対する評価
<p>●主体的な健康づくりの推進（歩くこと等の健康的な取り組みによる生活習慣の改善）</p> <p>「トコトコ健幸マイレージ事業」について、令和2年度から、埼玉県が実施する「コバトン健康マイレージ」に新たに参入し、「『歩くこと』を中心とした健康づくり」という「トコロん健幸マイレージ事業」のコンセプトを継承しつつ、事業費の抑制を図るとともに、参加者数や参加期間の制限を無くし、歩数計だけでなくスマートフォンでも参加できる等のリニューアルによって利便性を向上させた。</p> <p>また、歩く事でポイントがたまり、県と市の景品抽選に参加できるなど、「誰もが、いつでも、ど</p>

こでも、いつまでも」楽しみながら自らの健康づくりを生涯に渡り実践できるよう、更に魅力ある事業に発展させた。

併せて、広報とところざわではリニューアルに関する特集ページを掲載したり、ほっとメールやTwitterを活用した情報発信を行うなど、事業の周知に努めた。

これにより、令和2年度末の「トコトコ健幸マイレージ事業」の参加申込者数は6,663名となった。

また、栄養・歯科・健康に係る各種教室等については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止になったものも多いが、規模を縮小し、感染症対策を行いながら開催し、健康増進につながるよう努めた。

### ●スポーツ活動を通じた健康・体力づくりの推進（スポーツ活動を気軽に楽しめる環境づくり）

新型コロナウイルス感染症の影響で様々なスポーツ大会やイベントが中止となったが、体力を高める運動やリズム縄跳び、ダンス、エクササイズの映像コンテンツをつくり、所沢市公式YouTubeに掲載し、自宅でも子どもから大人まで気軽に楽しく運動ができるよう努めた。

### ●地域コミュニティの充実（地域課題解決に向けた自発的な取り組み）

地域活動の拠点施設であるまちづくりセンターでは、多くの事業が新型コロナウイルス感染症対策のために中止となったが、自粛生活による運動不足の解消を図るために、十分な感染症対策を講じながら、とこちゃん体操を中心に体力づくりや健康増進のための講座を開催し、地域住民の健康づくりに取り組んだ。

また、地域住民の日常生活における感染症予防に役立てていただくために、物品用除菌液の無料配布等を行った。

### ●自立した生活を継続するための取り組みの推進（介護予防や重度化防止に向けた取り組み）

70歳以上の偶数年齢の高齢者を対象に「健やか生活アンケート」を実施し、介護予防・重度化防止・認知症予防の知識と運動等の日常生活における取り組みの普及啓発を図った。

また、新型コロナウイルス感染症により、外出や人と会うことが制限される中で、広報とところざわにおいて、「おうちでできる介護予防で健康ないきいきライフを」というタイトルで、自宅での介護予防の取り組みを紹介した。

その他にも、ところん元気百歳体操等地域の通いの場における介護予防の取り組みの支援や、市内のスポーツクラブにおいて健康体操等の運動や介護予防・認知症予防のための講座を行う「いきいき健康体操教室」を実施した。

老人福祉センター・憩の家においては、感染症対策に努めながら自主事業や教養講座等を実施した。また、緊急事態宣言下における休館期間中においても、再開に向けて施設修繕、飾り付けを行い、利用者に電話連絡をすることで関係の維持に努めた。

### ●みどりと水の保全（「水とみどりがつくるネットワーク」の構築）

水やみどりとまちのにぎわいや魅力を結ぶ散策路を設定し「人を中心にしたまちづくり」の実現を目指す「所沢市水とみどりがつくるネットワーク計画」を策定した。また、庁内関連事業を相互に連携させ進捗を図ることを目的に、庁内会議「みどりトコトコ・プロジェクト」を開催し、情報共有を図るとともに進捗管理を行った。

さらに、狭山湖やその周辺を訪れる散策者や観光客の安全を図るため、市道5-4号線に、人道橋「狭山湖ふれあい橋」を設置し、散策路整備を行った。また、「東川桜舞う遊歩道事業」及び「砂川堀水辺保全・散策路整備事業」において、東川沿い及び砂川堀沿いの市道にウッドチップを敷設し散策路整備を行った。

所沢カルチャーパーク築造事業では、市民が身近な自然と触れ合う場となる「自然環境保全型の総合公園」として令和3年度の完成を目指し、管理棟、築山等の整備を進めた。

#### ●にぎわい拠点の創出・活性化（新規・既存の観光拠点の整備・充実）

所沢市観光情報・物産館整備事業（COOL JAPAN FOREST 構想事業）では、本市の観光情報の提供や特産物PR・販売等の魅力発信拠点として令和3年5月の開業に向け、施設整備を進めるとともに、本施設から市内外の観光拠点への回遊性を生み出すことを目指し、指定管理者を選定した。

東所沢公園改修事業（COOL JAPAN FOREST 構想事業）では、東所沢駅を利用してところざわサクラタウンへ訪れる方々の玄関口として、地域に根ざした公園としての役割に加え、来訪者にとっても憩いの場となるよう、園路、トイレ改修等の整備を進めた。

#### ●にぎわい拠点のネットワーク形成（新たなにぎわい拠点・観光交流拠点間の回遊性の向上）

インバウンド戦略推進事業では、所沢市の魅力的な観光資源を多言語で紹介する動画を作成するとともに、台北国際旅行博に出展し、ポストコロナを見据えた情報発信を行った。

また、令和2年11月よりシェアサイクル実証実験事業を開始し、自転車を活用した市内外の観光資源の回遊性の向上について、調査・検証を行っている。

#### ●観光を軸としたブランド化の推進（食を通じた新たな魅力の創出や地産地消の推進）

「クアオルト®健康ウォーキング」を活用した観光振興を実施する「埼玉県・所沢市ヘルスツーリズム協議会」と協働して、「クアオルト健康ウォーキング」を実施し、広報ところざわの特集ページや市ホームページ等による情報発信を行いつつ、観光と健康を融合した事業を展開した。

また、地産地消推進事業については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、イベントの多くは開催を見送ったが、令和2年度に作成した「地産地消レシピ」を通じて安全・安心な地元農産物を食することで健康づくりを支援するとともに、「所沢市農産物直売所ガイドマップ」において近場の直売所を紹介することにおいて「出歩き」の機会を創出した。

さらに、体験農場推進事業については、土との触れ合いによりリフレッシュ効果を得ることで、心身ともに充実した生活へと繋げるため、令和2年度から新たに2か所の体験農場を開設した。

#### ●所沢らしい景観まちづくりの推進（所沢らしい良好な景観の形成）

個人宅の草花や庭木のガーデニングを登録し、公開している庭を掲載した「とことこガーデンマップ」を作成して、良好な景観の形成につなげるとともに外に出て街歩きを楽しむ契機としている。またガーデナー同士や地域内での交流も生まれている。

さらに、所沢らしい景観を市民の推薦で景観資源として登録し、優れた景観を発掘・共有しており、このうち表彰された景観をガーデンマップで紹介して外出のきっかけ作りとした。

#### ●歩行者・自転車環境の整備推進（バリアフリーに配慮した空間の整備）

歩道内における歩行者と自転車の接触事故軽減を目的として、東所沢中央交差点からJR武蔵野

線アンダーパス手前の区間について自転車レーンを整備し、安心して安全な道路空間を創出している。

また、歩くことによる健康づくりを推進するためには、休息の場となるベンチの設置も必要であることから、東所沢駅前通りや北野下富線にベンチを設置した。さらに安全対策として道路照明灯を東所沢駅前通り周辺に設置した。

### <総評>

「健幸長寿のまち」の実現を目指し、各部署が様々な事業を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、従来どおりの事業開催は困難となった。しかしながら、広報紙や動画配信など様々な手法を活用し、運動不足の解消や介護予防に関連する情報発信を行うとともに、市民の健康増進につながる健康教室や体操教室などの各種事業を、感染症対策を行いながら可能な限り実施した。

中でも「トコトコ健幸マイレージ事業」については、感染症対策を行いながら自身のペースで健康づくりができることを周知・啓発し、6,663人（令和2年度末時点）という多くの市民が参加している。

また、「自然」と「人」のふれあいが増えるよう、庁内の関係部署の連携を深めつつ、公園・歩道の整備やガーデンマップの作成等を行うとともに、地元農産物直売所の紹介や景観資源に関する情報発信など「出歩き」の機会の創出を行った。

さらに、「所沢市水とみどりがつくるネットワーク計画」や「COOL JAPAN FOREST構想」等に基づき、ハード面の整備を進めるとともに、景観や文化、芸術、観光資源などの「歩きたくなる」ような、まちの魅力の創造・発信に取り組むなど、市民が「歩いて」「楽しんで」いきいきと暮らしていけるまちづくりに取り組んだ。

### 今後の方針

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による自粛生活は、市民の「心」と「体」の健康状態に深刻な影響を与えている。今後、ワクチン接種が進むことで感染が沈静化すると期待される一方、変異株が発生するなど、この先の感染状況の予想は困難である。また、今回の新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響は、未知の感染症にどう対応するのかという社会全体の課題を浮き彫りにしたといえる。

このような状況の中、「元気でいきいき“健幸長寿のまち”」の実現のためには、市民各々が自分のペースで楽しみながら、自由に取り組める「歩くこと」による「心」と「体」の健康づくりを推進していくことの重要性がますます高まっている。

併せて、市民が自ら歩きたくなるような、魅力溢れる「まち」にするための取り組みが重要である。

これまで、当プロジェクトを通じて、“健康”をキーワードとしてソフト部門とハード部門が連携し、様々な施策に取り組んできたが、今後も多くの市民が歴史や文化、芸術、街並み、自然などに触れながら楽しんで歩けるよう、引き続き各部門の連携を強めながら各種施策に取り組み、“健幸長寿のまちの実現”を目指していく。

## 【SDGsへの貢献】

- |   |                    |    |                   |
|---|--------------------|----|-------------------|
| 1 | 貧困をなくそう            | 10 | 人や国の不平等をなくそう      |
| 2 | 飢餓をゼロに             | 11 | 住み続けられるまちづくりを     |
| 3 | すべての人に健康と福祉を       | 12 | つくる責任 つかう責任       |
| 4 | 質の高い教育をみんなに        | 13 | 気候変動に具体的な対策を      |
| 5 | ジェンダー平等を実現しよう      | 14 | 海の豊かさを守ろう         |
| 6 | 安全な水とトイレを世界中に      | 15 | 陸の豊かさを守ろう         |
| 7 | エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 16 | 平和と公平をすべての人に      |
| 8 | 働きがいも経済成長も         | 17 | パートナーシップで目標を達成しよう |
| 9 | 産業と技術革新の基盤を作ろう     |    |                   |